

どんな業界や職種を志望しましたか？

大学で数学専攻に進んだとき、「数学を使う専門職には、どんなものがあるだろう」と調べてみて、アクチュアリーという仕事を知りました。

「数学を使える」という条件で探してみると、金融業界には他にも様々な専門職がありますが、その中でもアクチュアリーは保険商品を開発したり、保険金の資産運用が問題なくできているかとチェックしたりする仕事。社会を支える保険の重要な部分を任せられるところに魅力を感じました。

就職活動はどんなスケジュールでしたか？

夏のインターシップの時期から、アクチュアリーを目指して活動をはじめました。アクチュアリーを採用している企業は、生命保険会社、損害保険会社、信託銀行の三つに大きく分かれます。保険にかかわれる会社を希望していたので、生保と損保で1社ずつインターンに参加しました。

会社説明会の始まる12月の段階



では、生保と損保のどちらに進むか決めていませんでした。エントリーシートを書き始める2月ごろになってようやく「損保には、東日本大震災のような自然災害のリスクを扱う業務もある。社会的な意義を感じられ、自然災害リスクの定量化というやりがいのある仕事ができる」と損保業務の中に行きがいや興味のある仕事を見出せるようになり、損保に絞りました。

内定先を決めたポイントは何？

誰でも参加できる会社説明会・セミナーをたくさん開いていたところですね。会社として就職活動に力を入れていて、かつ公正な会社だという印象を受けました。

【就活データ】

- 就活開始：2012年7月
- 就活終了：2013年4月
- 志望業界：保険（アクチュアリー）
- エントリー：12社
- 面接社数：10社
- 内定社数：3社
- 内定先：三井住友海上火災保険株式会社（アクチュアリー）

活動体験談

case

01

同じ目標に挑む仲間がいたから頑張れた

東京大学大学院 情報理工学系研究科 数理工学専攻 修士2年 大屋 俊輔

就職活動を通して出会った人事担当者・先輩社員・内定者の方々も、私たち学生と真摯に向き合い、誠実に語り掛けてくださいました。そういった人間味あふれる社員の皆さんと一緒に働けるところに魅力を感じました。

理系ナビのサービスはいかがでしたか？

理系ナビは就職情報サイトの中心で、アクチュアリー資格試験に向けた対策セミナーなど、アクチュアリー関連のセミナー情報が一番充実していました。

それに1対1で面接対策のアドバイスをしてくれたのも助かりました。私は面接で伝えるべき点を整理できていなくて、「受け答えがうまくできていない」という課題を感じていました。どうすれば話す内容を整理できるか、うまくアピールできる考え方を指導していただけて、非常に役立ちました。もう一つ、理系ナビのセミナーに参加することで、アクチュアリー志望の仲間ができたことも大きかったです。仲間内の情報交換は、とても有意義なものになりました。

これから就活に臨む読者へのアドバイスをお願いします。

一緒に就職活動に挑む仲間が本当に大切です。仲間同士で貴重な情報を共有したり、つらいときには励まし合ったりしました。アクチュアリー試験対策のため、みんなで勉強会を開くなど、「同じ目標に挑むみんながいたから頑張れた」と感じています。

とはいえ、自分よりも先に内定を取る仲間が出てくると「アイツは、もう内定をもらったのか」と焦ることもあるかもしれませんが、そんな状況になっても、これまでに自分がやってきたことを信じて、自信を持って、自分の選考に立ち向かってください。

自身の反省点を挙げるとすれば、「最初からアクチュアリーに絞り過ぎた」ところです。あえて全然興味のない業界をのぞいていたら「やはり自分に一番向いているのはアクチュアリーだ」と確信を持たず、一見、遠回りかもしれませんが、就職活動中は様々な業界・仕事を見ておくことをお勧めします。

就職活動はどんなスケジュールでしたか？

本格的に就職活動をはじめたのは、5年生の夏にインターンに応募したところからです。6年制の獣医学部に所属しておりましたが、「食わず嫌いにならずに、色んな仕事を見てみたい」と考えていたので、コンサル、外資系金融、メーカーなど5社のインターンに参加。それらの業務体験を通じて、「アドバイザーの立場で企業経営に関わる」コンサルテイングが自分に向いていると感じるようになりました。

その後、秋からはコンサル業界のインターンを中心にエントリーを行いました。その結果、インターンに参加した企業の中で最も自分のやりたい仕事ができると思ったドリームインキュベータからのオファーを頂き、12月に就職活動を終えることができました。

志望業界と内定先は？

ビジネスの全体像を把握できる仕事に就き、オールラウンドで勝負できる力を身に付けたい



と考えていたので、コンサル、外資系金融、商社などを志望していました。最終的に戦略コンサルテイングファームのドリームインキュベータに決めたいのは、様々な面で型破りで、やろうと思ったことに挑戦できる風土があると感じたからです。

そのような風土を重視した理由は、僕自身、業務や指導がシステムとして完成されているような環境で、型にはまってしまふよりも、「自由度の高い環境で色んなことに挑戦し、サバイバルな環境で戦える力を身に付けたい」と考えたからです。また、同社がミッションとして掲げている、日本の産業をプロデュースして世界に展開する、

case

02

理系の就職

「本当に自分がしたいこと」を突き詰めて考えよう

東京大学 獣医学部 6年 高木 俊浩

【就活アーク】

- 就活開始：2012年6月
- 就活終了：2012年12月
- 志望業界：コンサル、外資系金融、商社
- エントリー：16社
- 面接社数：13社
- 内定社数：2社
- 内定先：株式会社ドリームインキュベータ

という理念にも惹かれました。理系ナビのサービスは、業界や仕事内容を理解するのに役立ちました。具体的には、コンサルや金融といった業界の概要を理系ナビで大まかに把握し、その後、興味を持った部分については自分で情報収集して理解を深めるという形で進めていました。

就職活動で一番苦労したことは何ですか？

情報収集ですね。獣医学部ということもあって、就職活動をする仲間が周囲にいなかったため、自分から動き出さないと何も情報が入ってこない環境でした。しかし、インターンの選考などを通じて、同じ業界を志望する友人が増えていき、周囲の状況を知ることができるようになったのは非常に助かりましたね。

就職活動で大切に感じたことは？

就職活動の全体スケジュール

を把握して、いつまでに何をすべきか、しっかりと計画を立てることで。特に理系学生は忙しいため、優先順位をつけて取捨選択を早めにかねることが大切だと感じました。

これから就活に臨む読者へのアドバイスをお願いします。

「自分がしたいこと」をしっかり考えてください。理系学生は自分の「できること」にとらわれがちですが、一方で、今後何十年と働けば「できること」はどんどん増えていきます。それよりも、「本当に自分がしたいこと」を考え抜くことで、納得のいく就活ができると考えています。

その際、ネットや大学・研究室の中だけでは見えてこないことは多いと思いますが、就職活動という機会を通じて、様々な仕事、社会人に会って視野を広げてみてください。そして、どんなに苦しくてもやり抜く自信が持てるような仕事を見つけてほしいですね。